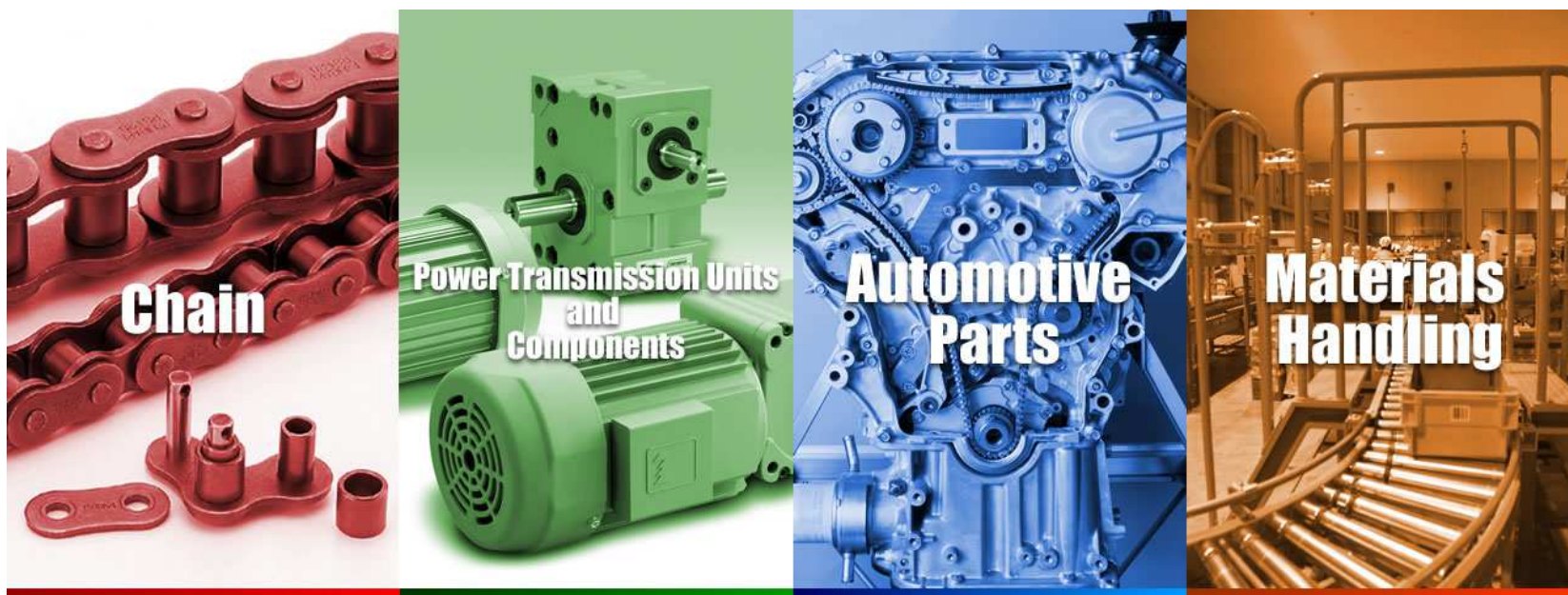


株式会社椿本チエイン 2014年3月期 決算説明会



2014年5月20日

2014年3月期 連結業績報告

注) 本資料で表記する「通期」は、当該連結会計年度における「4月1日～翌年3月31日」を示します。
(海外子会社の一部は「1月1日～12月31日」)

1. 14年3月期レビュー 連結決算ハイライト

2

■ 自動車部品事業の伸長、円安の進行に加え、新規連結効果などにより、前期比18.7%の増収、38.0%の増益。

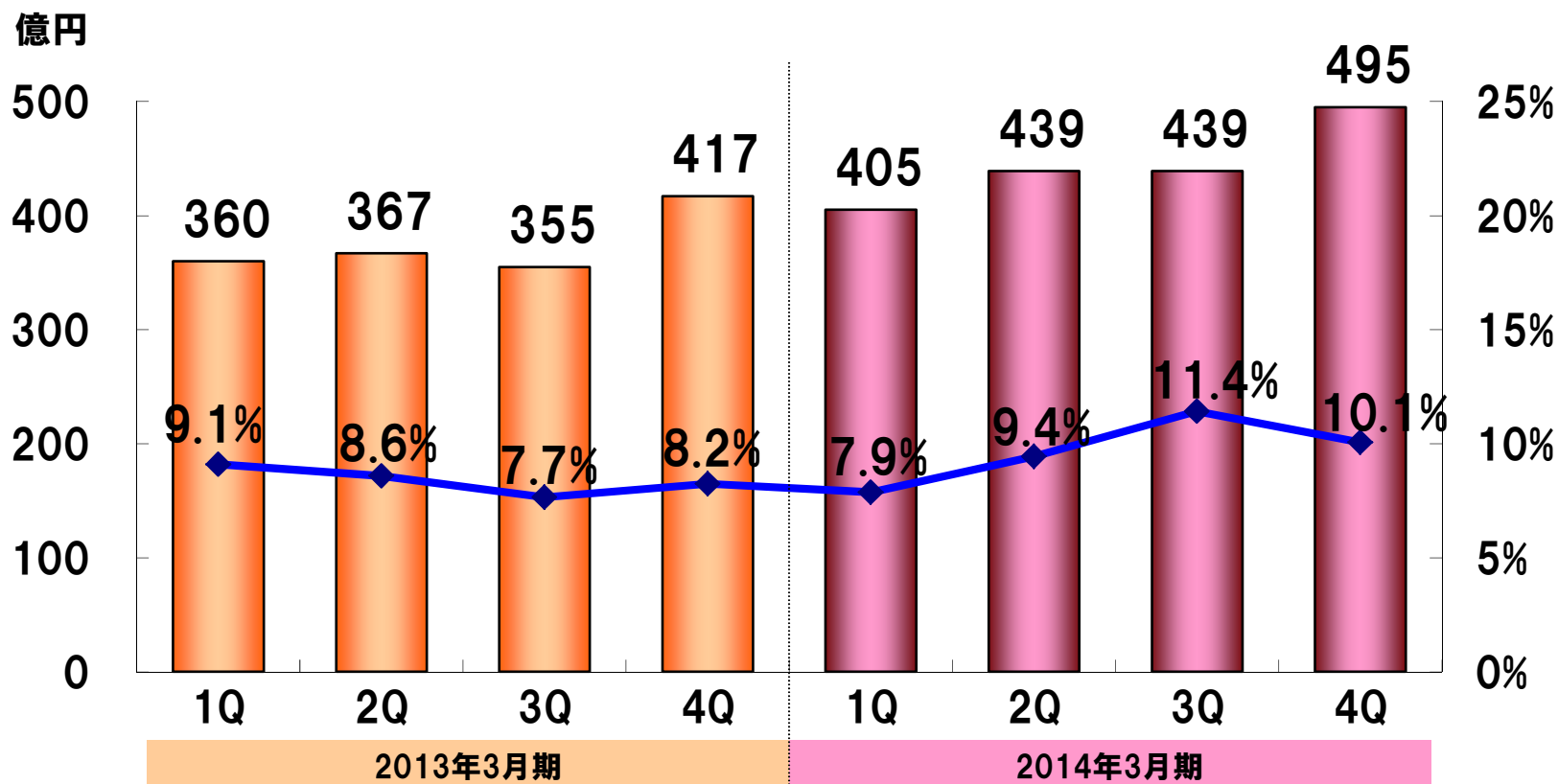
(単位：百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比	'14.2.7修正予想比	
	通期実績	通期実績	増減率	予想値	増減率
売上高	150,002	178,022	18.7%	175,000	1.7%
営業利益	12,579	17,354	38.0%	16,000	8.5%
営業利益率	8.4%	9.7%		9.1%	
経常利益	12,813	17,993	40.4%	16,400	9.7%
当期純利益	7,428	10,213	37.5%	9,600	6.4%
1株当り当期純利益	39.69	54.58	—	51.30	—
(為替レート 1US\$)	82.92	100.16	—	—	—
(為替レート 1EURO)	106.78	134.21	—	—	—
自己資本比率	47.3%	51.8%	自己資本/総資産		
自己資本利益率(ROE)	7.7%	9.3%	当期純利益/期中平均自己資本		
ネット D/E レシオ	0.16	0.13	(有利子負債-現預金)/自己資本		

2. 14年3月期レビュー 四半期毎連結業績の推移

3

■ 売上高、営業利益率の推移（連結）

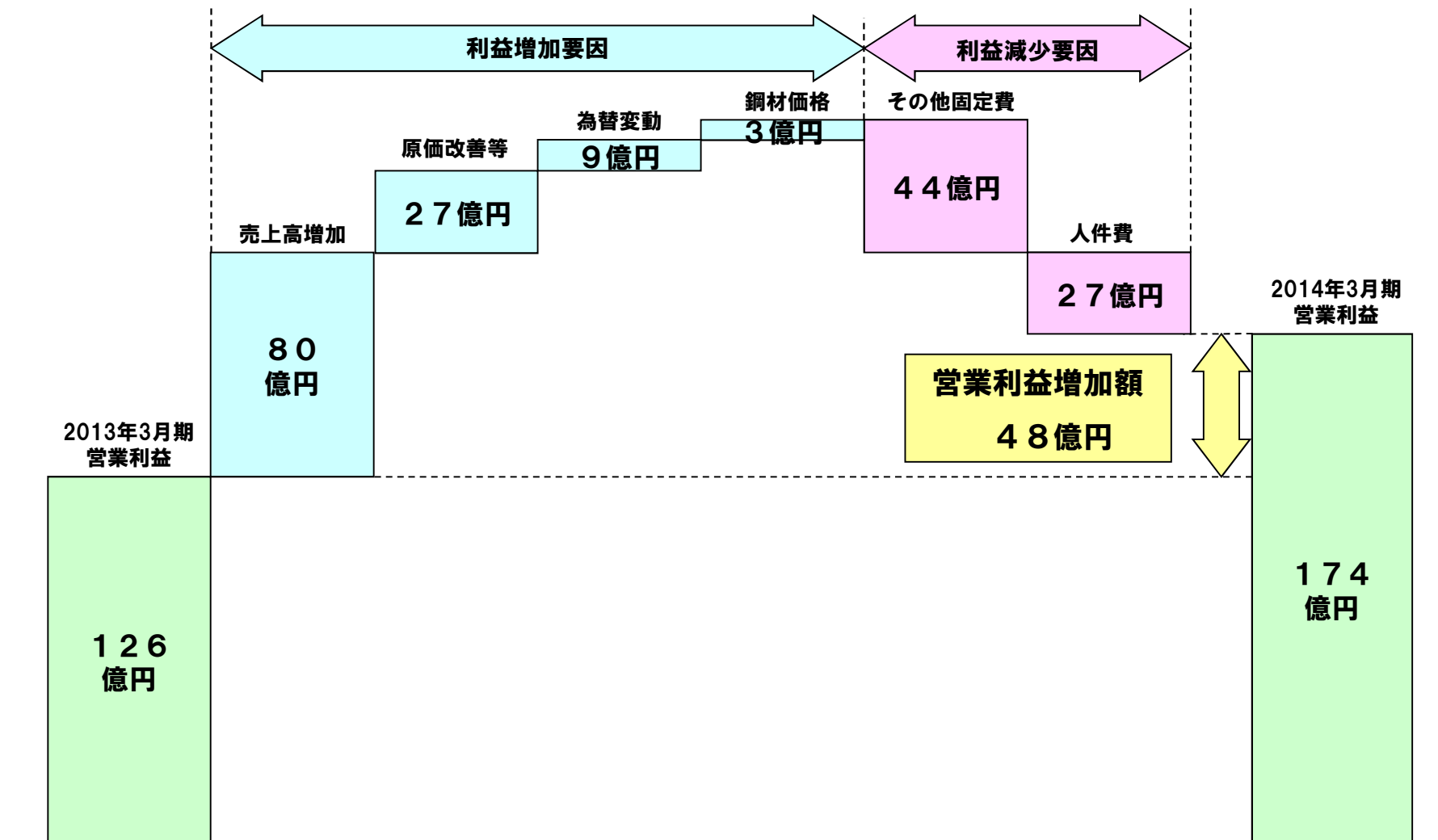


主な為替レート	2013年3月期	2014年3月期
US\$	82.92円	100.16円
ユーロ	106.78円	134.21円

単位：億円、 : 売上高、 : 営業利益率

3. 14年3月期レビュー 連結営業利益増減要因分析

■ 2013年3月期実績 vs 2014年3月期実績



※営業利益の実績値は四捨五入後の数値です。

4. 14年3月期レビュー 事業セグメント別業績

5

- 自動車部品が伸長。マテハンはメイフランの新規連結効果などにより、大幅な増収増益。

		(単位：百万円)				
		2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期実績	前期比 増減率	'14.2.7修正予想比 予想値	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	50,250	55,828	11.1%	54,900	1.7%
	営業利益	3,586	3,763	4.9%	3,500	7.5%
	営業利益率	7.1%	6.7%		6.4%	
精機	売上高 ^{※注1}	19,664	21,612	9.9%	21,200	1.9%
	営業利益	1,955	2,273	16.2%	2,100	8.2%
	営業利益率	9.9%	10.5%		9.9%	
自動車部品	売上高 ^{※注1}	49,367	60,674	22.8%	59,900	1.3%
	営業利益	6,494	10,119	55.8%	9,800	3.3%
	営業利益率	13.1%	16.7%		16.4%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	30,246	39,565	30.8%	38,800	2.0%
	営業利益	531	1,192	124.3%	750	58.9%
	営業利益率	1.8%	3.0%		1.9%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	2,846	2,719	▲ 4.4%	2,700	0.7%
	営業利益	143	63	▲ 56.0%	60	5.0%
	営業利益率	5.0%	2.3%		2.2%	

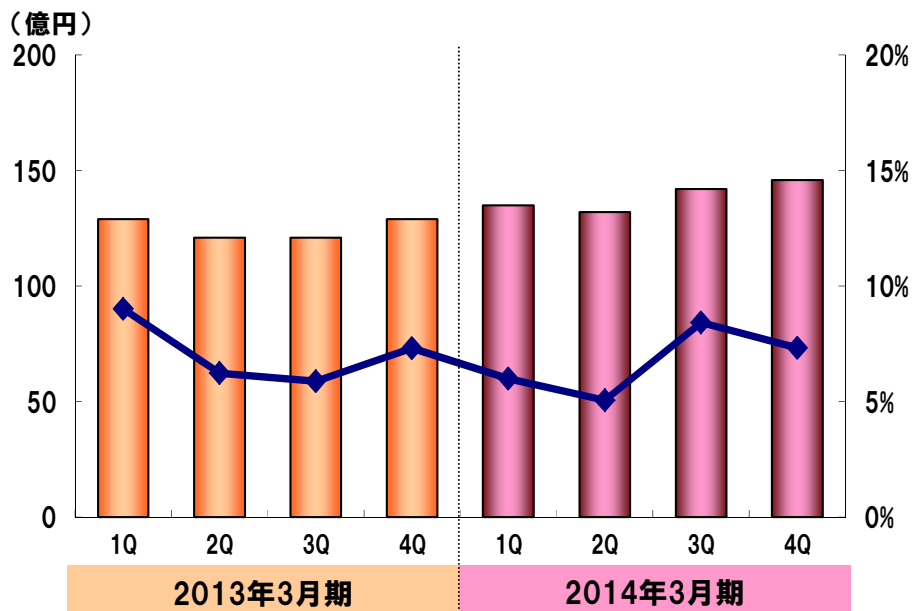
※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2：「その他」は、報告セグメントではありません。

5. 14年3月期レビュー 事業セグメント別業績推移

■ 売上高、営業利益率の推移

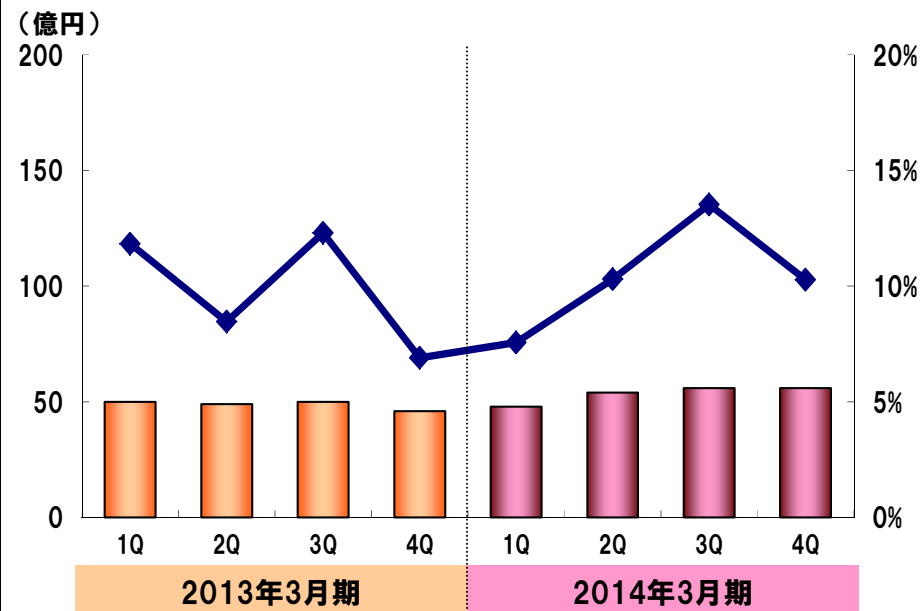
● チェーン事業



<地域別>

- 日本は下期回復基調となり売上は横ばい。
- 北米、欧州は円安効果もあり大幅な増収増益。
- アジア・オセアニアは堅調に推移。
- 中国・天津工場の立ち上げ費用等で収益性はやや悪化。

● 精機事業



<地域別>

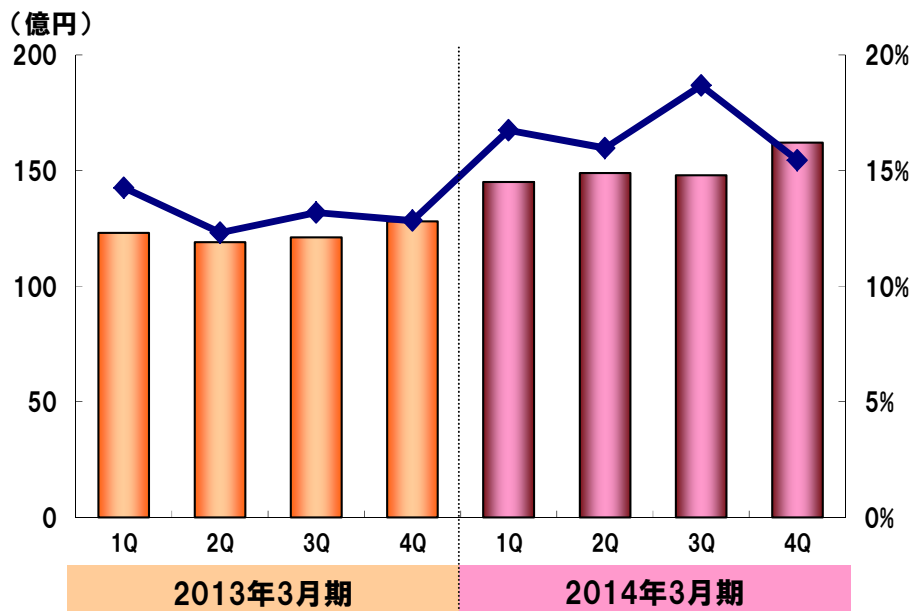
- 日本は下期回復基調となり売上は横ばい。
- 中国（天津子会社）が好調に推移。
- 中国（上海子会社）を新規連結。

単位：億円、 : 売上高、 : 営業利益率

5. 14年3月期レビュー 事業セグメント別業績推移

■ 売上高、営業利益率の推移

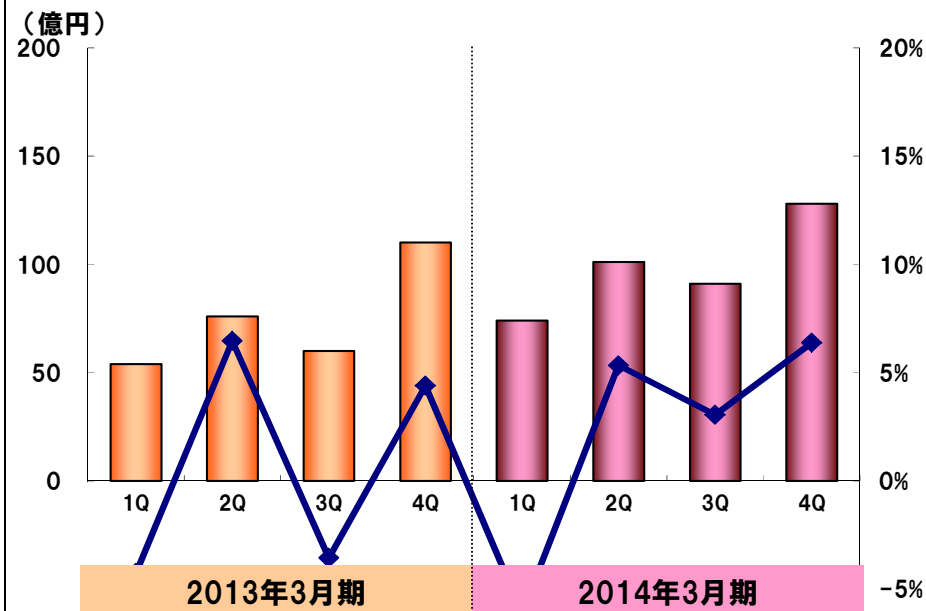
● 自動車部品事業



<地域別>

- ・ 日本の売上は、ほぼ横ばいで着地。
- ・ 海外5拠点（北米、欧州、タイ、中国、韓国）は大幅な増収増益。

● マテハン事業



<業界別>

- ・ メイフランの新規連結効果により、売上と利益が増加。
- ・ 流通、創薬、鉄鋼業界向けなど、国内向け売上が減少したものの、設計費削減などにより、収益性を改善。

単位：億円、 : 売上高、 : 営業利益率

6. 14年3月期レビュー 所在地別業績

■ 北米とアジア・オセアニアが大幅に伸長。

(単位：百万円)

		2013年3月期	2014年3月期	前年同期比
		通期実績	通期実績	増減率
日 本	売上高 ^{※注}	110,183	110,585	0.4%
	営業利益	8,570	9,234	7.7%
	営業利益率	7.8%	8.4%	
北 米	売上高 ^{※注}	29,967	43,329	44.6%
	営業利益	2,103	3,998	90.1%
	営業利益率	7.0%	9.2%	
欧 州	売上高 ^{※注}	14,566	22,056	51.4%
	営業利益	429	471	9.7%
	営業利益率	2.9%	2.1%	
アジア ・オセアニア	売上高 ^{※注}	17,027	25,740	51.2%
	営業利益	1,417	2,710	91.2%
	営業利益率	8.3%	10.5%	
そ の 他	売上高 ^{※注}	95	222	133.4%
	営業利益	▲ 55	▲ 34	—
	営業利益率	—	—	

※注：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

<主な実績レート>

'13/3 通期：US\$=¥82.92, EURO=¥106.78, Can\$=¥82.77, A\$=¥85.52, THB=¥2.57, NT\$=¥2.81, RMB=¥12.66, WON=¥0.07

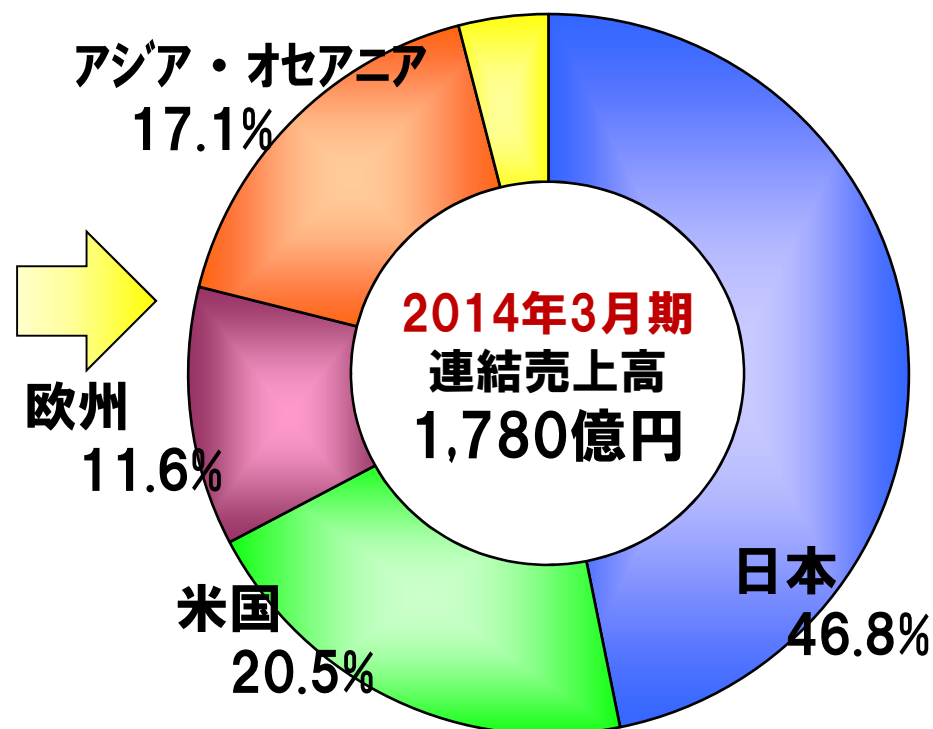
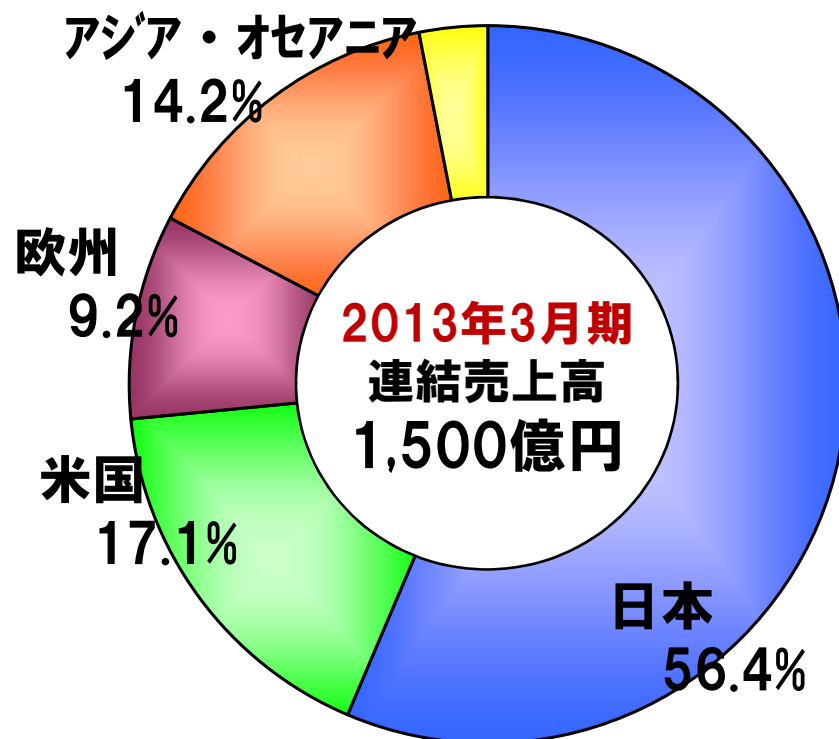
'14/3 通期：US\$=¥100.16, EURO=¥134.21, Can\$=¥95.14, A\$=¥93.45, THB=¥3.18, NT\$=¥3.35, RMB=¥15.92, WON=¥0.09

7. 14年3月期レビュー 海外売上高比率

■ メイフラン新規連結等により
海外売上高比率は、53.2%へと上昇。

海外売上高比率：43.6%

海外売上高比率：53.2%



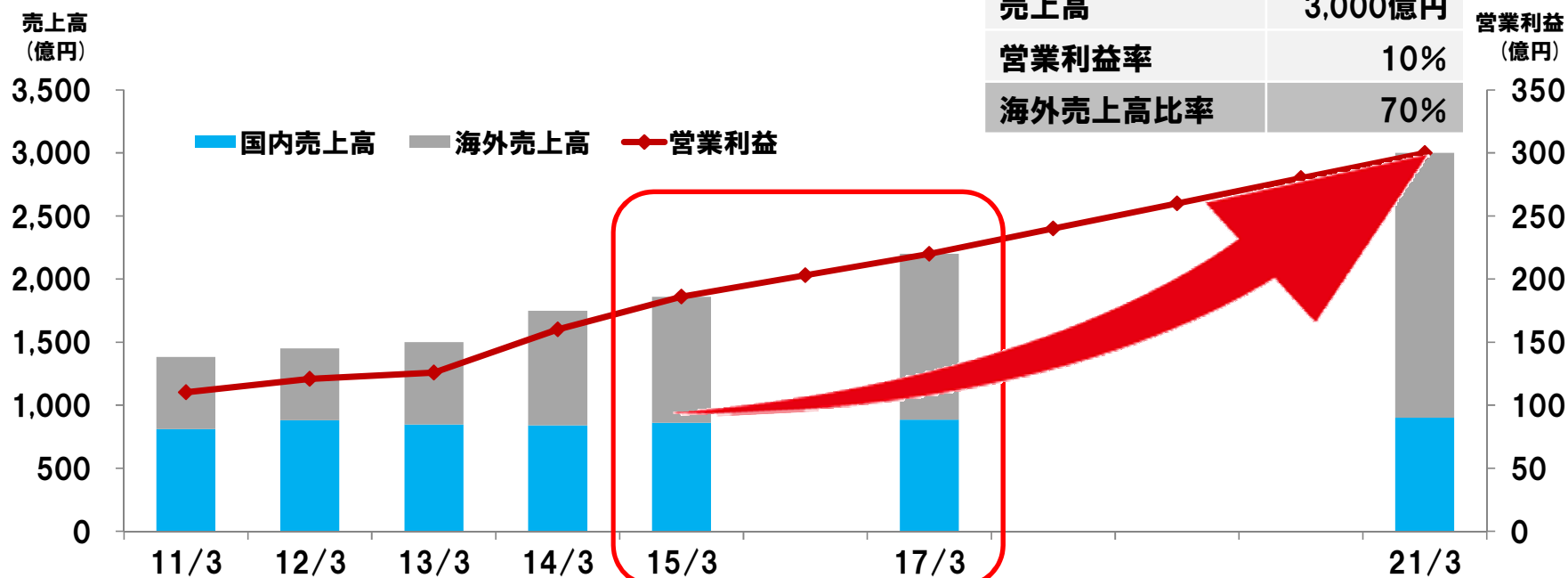
※注1：売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。
※注2：詳細データは、本資料に添付の「データ集」をご参照ください。

「中期経営計画2016」と 今期の重点課題

1. 「長期ビジョン2020」

ターゲット市場で確固たる地位（シェア）を確立し、
「グローバルトップ企業」を目指す。

「長期ビジョン2020」数値目標	
2021年3月期	
売上高	3,000億円
営業利益率	10%
海外売上高比率	70%



①

マーケット重視の企業文化への転換

市場（地域・業界）ニーズに
徹底対応した商品開発、モノづくり

②

グループ総合力を生かした ビジネスの拡大

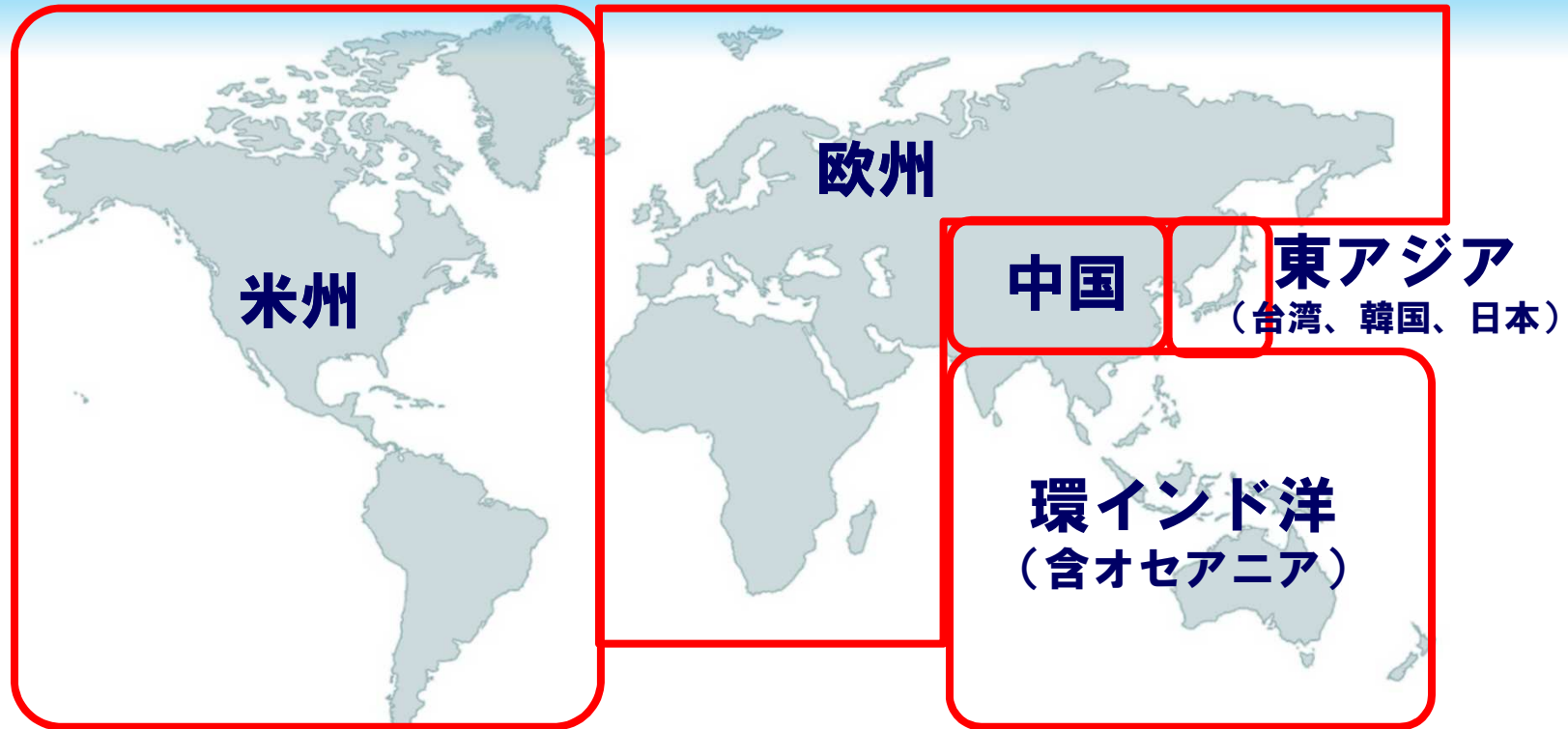
「グループ技術力」を組み合わせ、市場ニーズに
マッチした商品を創出

③

収益力の強化

- ・最新のモノづくり方式（生産技術・加工技術）導入
- ・すべてのモノづくり部門でGOPを推進
- ・省エネルギーでのモノづくり（生産ラインのエコ化）

マーケット重視の企業文化への転換



市場（地域・業界）ニーズに
徹底対応した商品開発、モノづくり

3. 「中期経営計画2016」数値計画

14

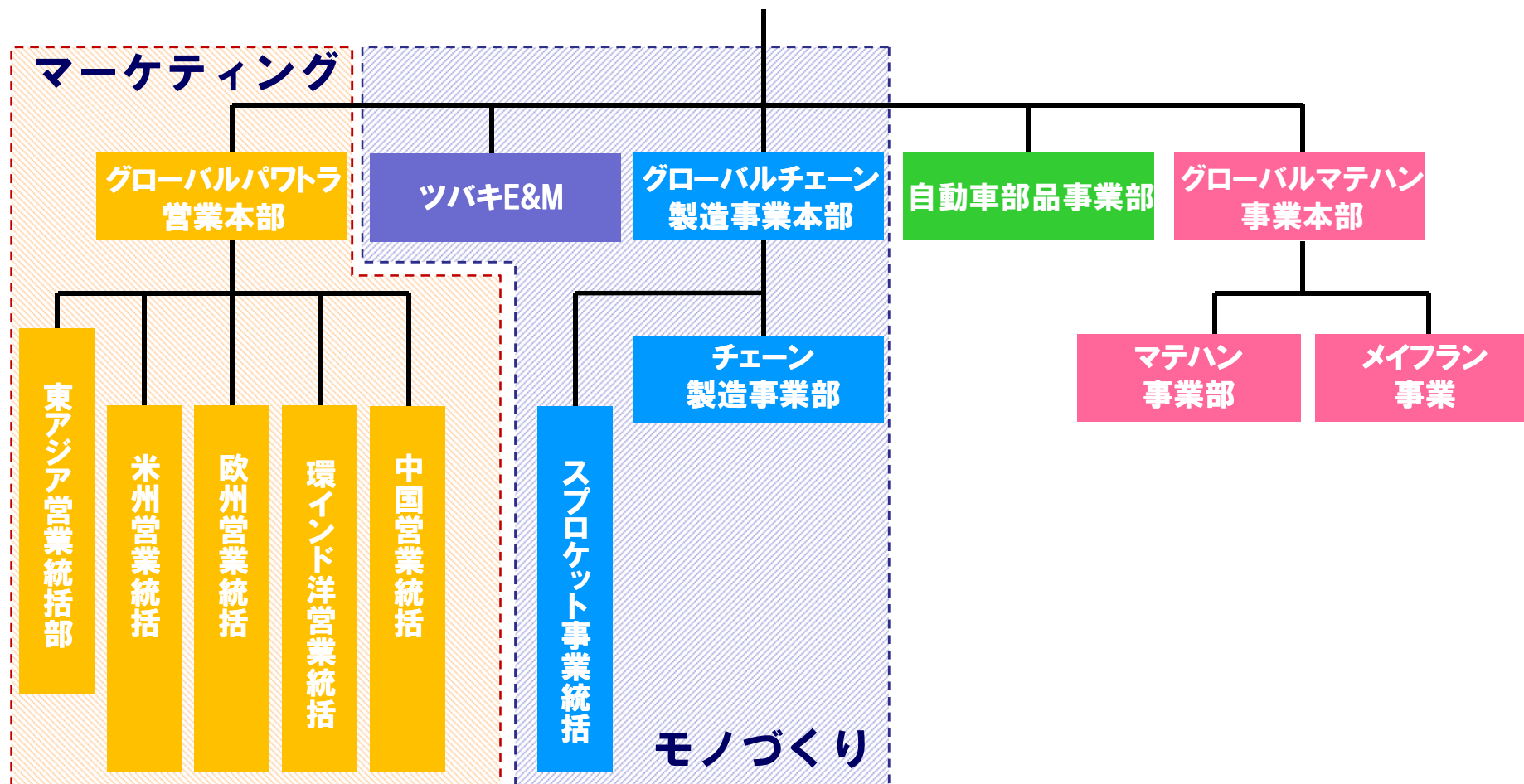
単位：億円

		'15年3月期(予想)	'17年3月期
チェーン事業	売上高	571	729
	営業利益(利益率)	44 (7.7%)	61 (8.5%)
精機事業	売上高	218	261
	営業利益(利益率)	23 (10.6%)	28 (10.9%)
自動車部品事業	売上高	662	744
	営業利益(利益率)	104 (15.7%)	111 (14.9%)
マテハン事業	売上高	406	474
	営業利益(利益率)	14 (3.4%)	21 (4.6%)
連結合計	売上高	1,860	2,200
	営業利益(利益率)	186 (10.0%)	220 (10.0%)

4. 15年3月期 機構改革（2014年4月1日付）

15

- ① マーケティング、モノづくりの役割の明確化
- ② マテハン事業のグローバル展開強化



5. 15年3月期 重点課題（パワトラ・マーケティング）

16

「中期経営計画2016」事業別課題

- ① 主要地域におけるマーケティング強化
（重点地域は、中国、欧州）
- ② グループ総合力の発揮
- ③ 2020年、産業用スチールチェーンにおける
世界シェアN0.1の実現

2015年3月期 重点課題

- ① 地域マーケティングの強化
 - ・ 中国：販売拠点の増強
 - ・ 欧州：グループ各社の営業連携の強化
- ② 総合力の発揮
 - ・ 強い商品を核にしたセット納入
 - ・ 複合機能を持つモジュールの提案
 - ・ マテハン事業との協業

6. 15年3月期 重点課題（パワトラ・モノづくり）

17

「中期経営計画2016」事業別課題

- ① ハイエンド商品の競争力強化
- ② 収益性の向上

2015年3月期 重点課題

① GOPの推進

- ・ 中国天津工場の生産安定化と生産品種拡大
（コンベヤチェーン、スチールケーブルベヤ）
- ・ 台湾椿本の生産拡大
（小形ローラチェーンの一部部品の集中生産）

② 新商品開発力の強化

- ・ G8シリーズチェーン、コンベヤチェーン業界特化商品の拡大

7. 15年3月期 重点課題（自動車部品事業）

18

「中期経営計画2016」事業別課題

- ① タイミングチェーンドライブシステム
ダントツ「世界シェアNO.1」の実現（2020年）

2015年3月期 重点課題

**グローバル生産力向上、高品質による競争力の強化
（既存顧客の死守と新規顧客の獲得）**

- ① **営業・技術の現地化推進**
 - ・ グローバル人材育成
 - ・ 中国における、営業技術力の強化
- ② **天津第2工場建設**
- ③ **モノづくり改革活動によるコスト競争力強化**

8. 15年3月期 重点課題（マテハン事業）

19

「中期経営計画2016」事業別課題

- ① メイフラン事業におけるグローバルでのシナジー強化
- ② マテハン事業部の収益性向上
- ③ パワトラ部門との連携強化

2015年3月期 重点課題

- ① **メイフラン事業**
 - ・ 工作機メーカーへのグローバル対応（共通化、最適地生産）
- ② **マテハン事業部の収益性向上**
 - ・ 分野別（セル）組織運営、コストの見える化 → 利益管理の徹底
 - ・ 商品力、提案力強化による売上拡大
 - 自動車向け組立台車、ライフサイエンス向け冷凍保管庫等、
新商品、商品開発強化テーマを選出し、商品強化策を実施
 - 流通向けWMSなど、提案営業につなげやすい商材の品揃え
- ③ **パワトラ部門との連携強化**
 - ・ 用途別の特化モジュール、ユニット開発

2015年3月期 連結業績予想

1. 15年3月期 通期連結業績予想

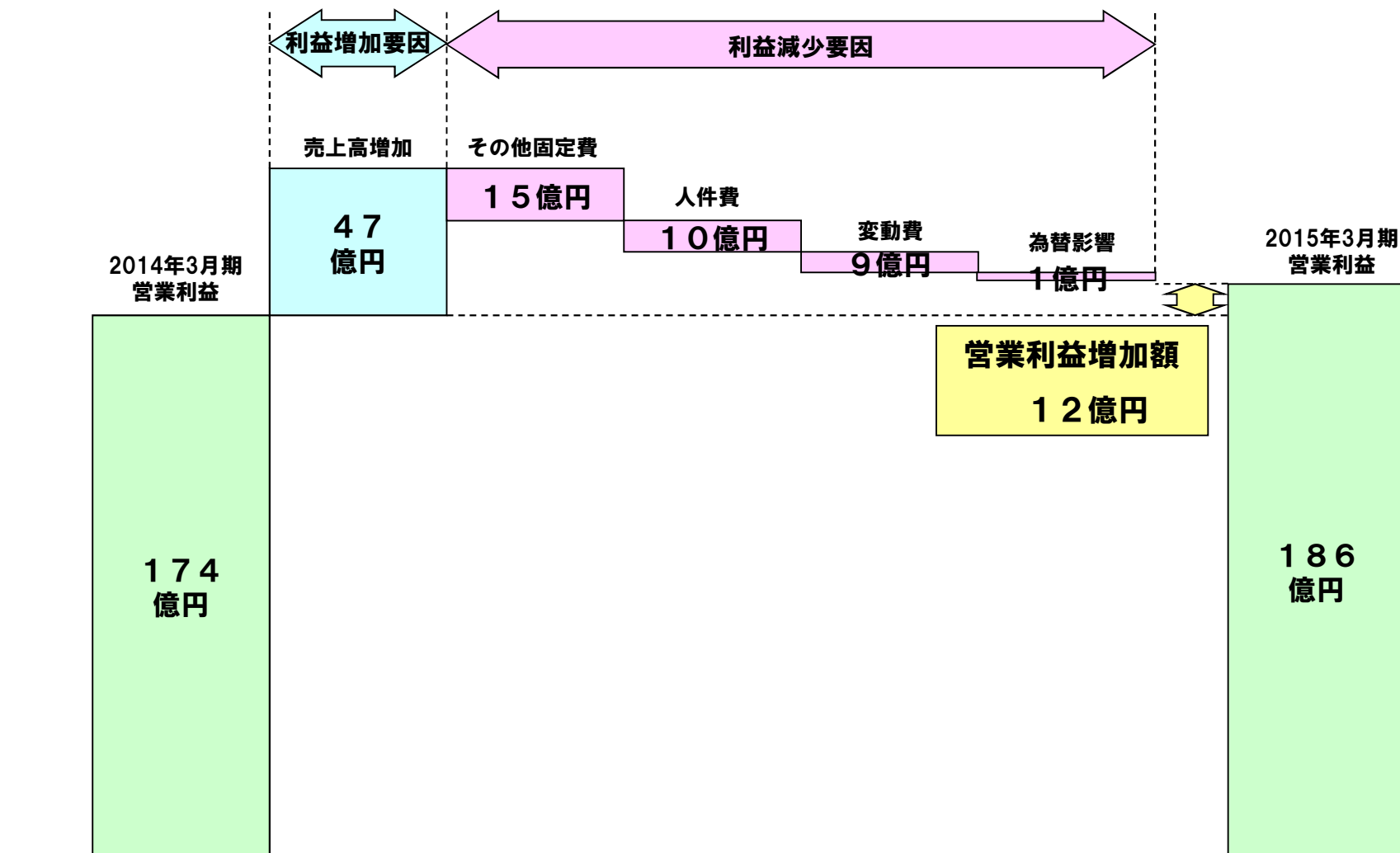
(単位：百万円)

	2014年3月期	2015年3月期			前期比
	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
売上高	178,022	90,500	95,500	186,000	4.5%
営業利益	17,354	9,100	9,500	18,600	7.2%
営業利益率	9.7%	10.1%	9.9%	10.0%	
経常利益	17,993	9,100	9,500	18,600	3.4%
当期純利益	10,213	5,700	6,000	11,700	14.6%
1株当たり当期純利益	54.58円	-	-	62.53円	-
(為替レート 1US\$)	100.16円	-	-	100.00円	-
(為替レート 1EURO)	134.21円	-	-	135.00円	-

2. 15年3月期 連結営業利益増減要因分析

22

■ 2014年3月期実績 vs 2015年3月期予想



※営業利益の実績値は四捨五入後の数値です。

3. 15年3月期 事業セグメント別業績予想

(単位：百万円)

		2014年3月期	2015年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	55,828	28,400	28,700	57,100	2.3%
	営業利益	3,763	2,000	2,400	4,400	16.9%
	営業利益率	6.7%	7.0%	8.4%	7.7%	
精機	売上高 ^{※注1}	21,612	10,800	11,000	21,800	0.9%
	営業利益	2,273	1,100	1,200	2,300	1.2%
	営業利益率	10.5%	10.2%	10.9%	10.6%	
自動車部品	売上高 ^{※注1}	60,674	31,600	34,600	66,200	9.1%
	営業利益	10,119	5,300	5,100	10,400	2.8%
	営業利益率	16.7%	16.8%	14.7%	15.7%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	39,565	19,600	21,000	40,600	2.6%
	営業利益	1,192	600	800	1,400	17.4%
	営業利益率	3.0%	3.1%	3.8%	3.4%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	2,719	1,500	1,600	3,100	14.0%
	営業利益	63	40	60	100	58.7%
	営業利益率	2.3%	2.7%	3.8%	3.2%	

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2：「その他」は、報告セグメントではありません。

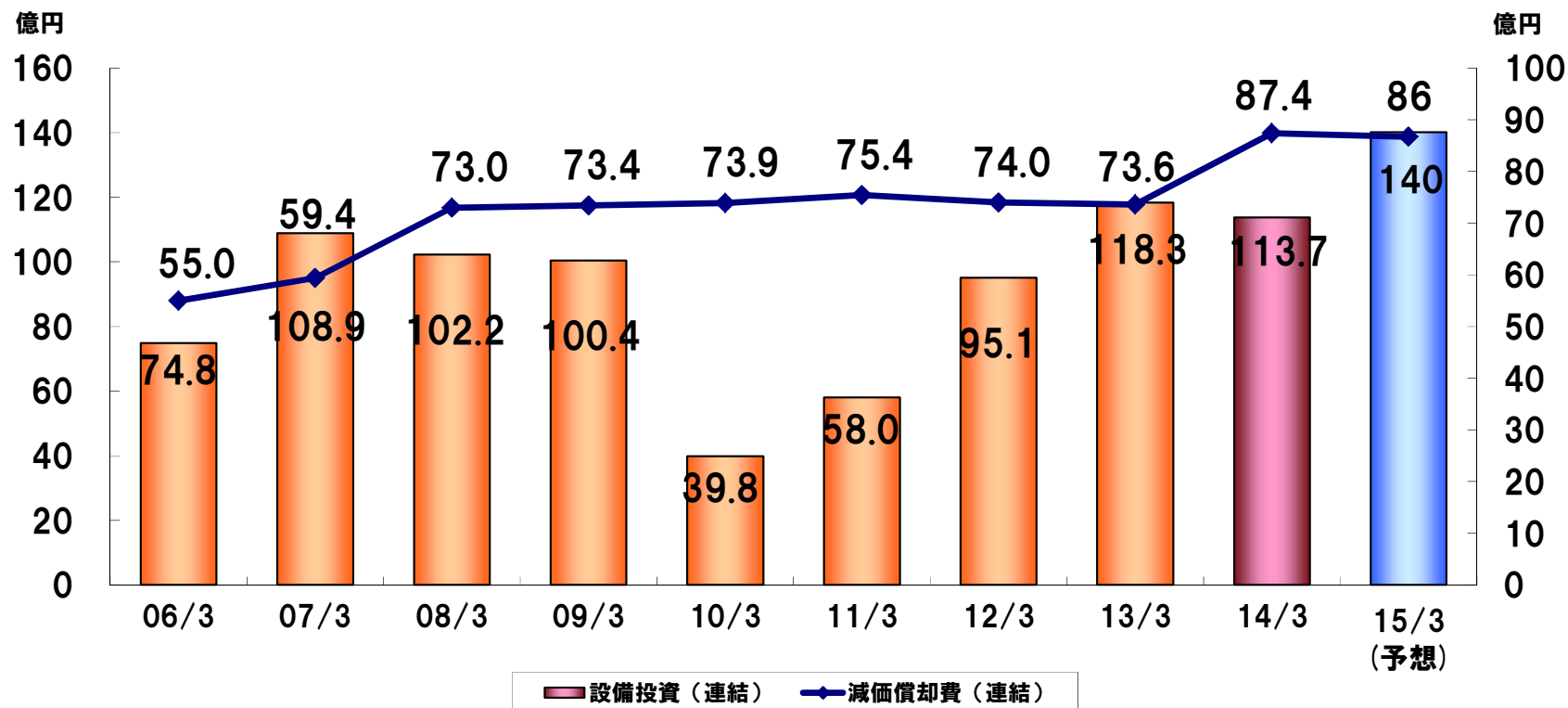
4. 15年3月期 設備投資・減価償却費

24

■ 主な設備投資

- ① 自動車部品事業のグローバル生産体制強化（中国、タイほか）
- ② チェーン事業の生産設備関連（京田辺工場ほか）

■ 設備投資と減価償却費の推移

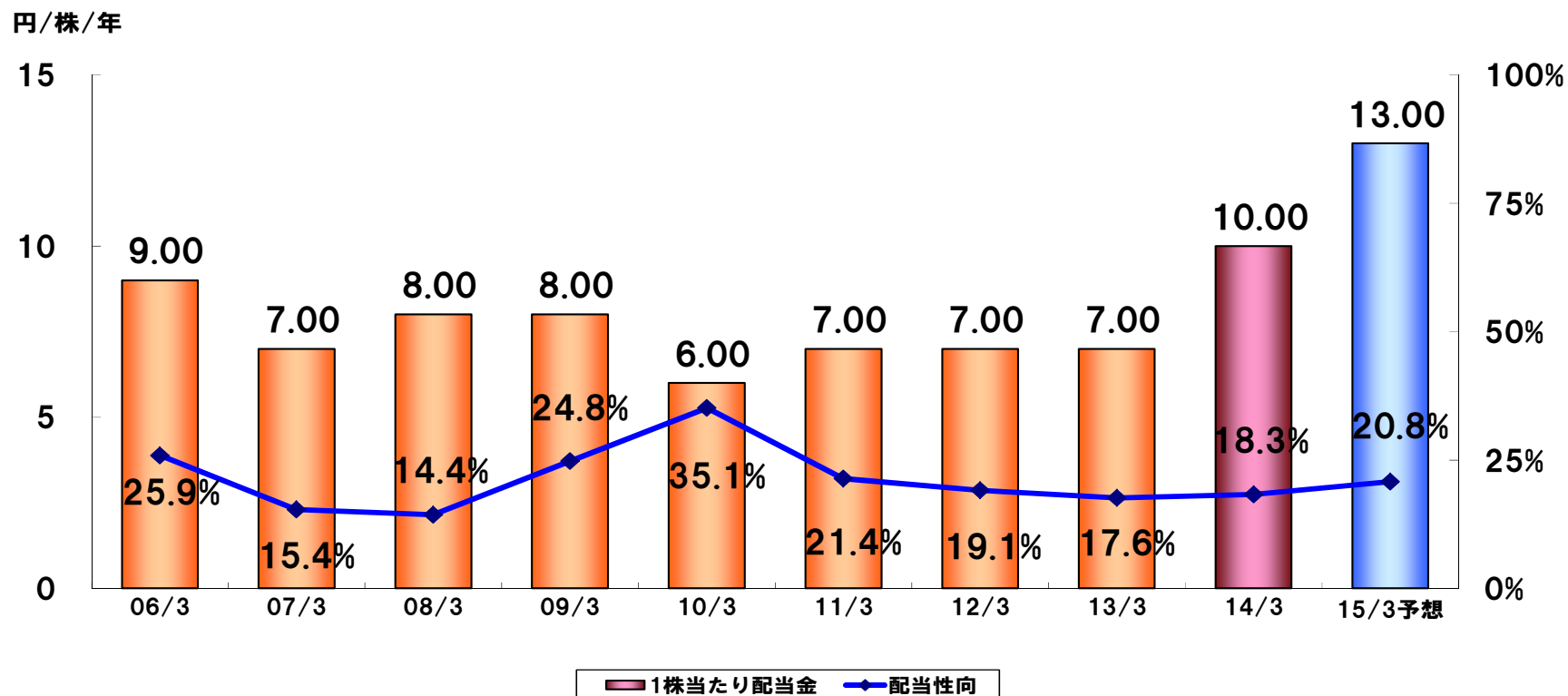


5. 配当金、連結配当性向

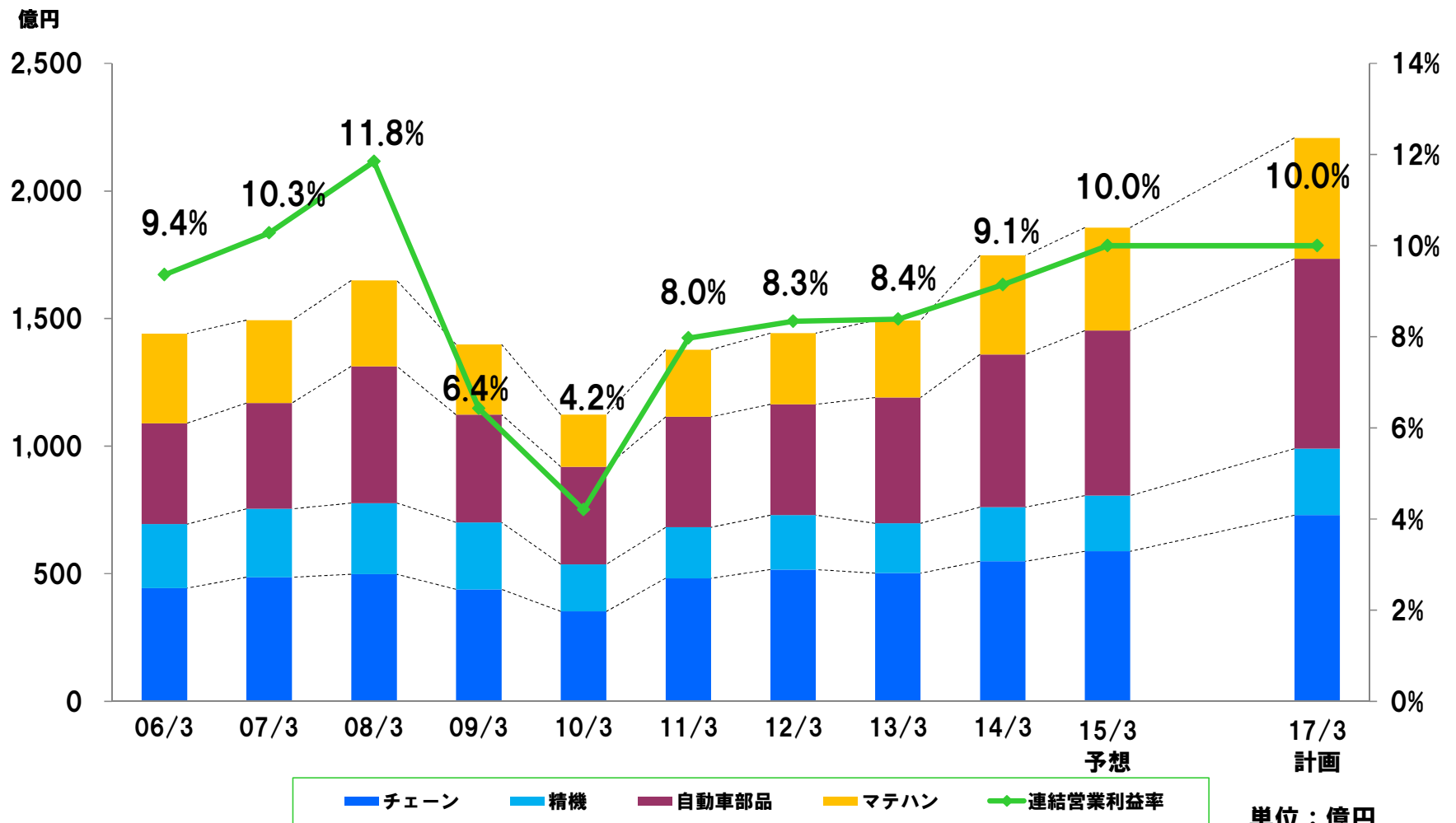
■ 配当方針について

- ① 従来の安定配当から配当性向重視の方針に転換
- ② 連結配当性向30%を目標に、3年以内での実現を目指す。

■ 1株当たり配当金、連結配当性向の推移

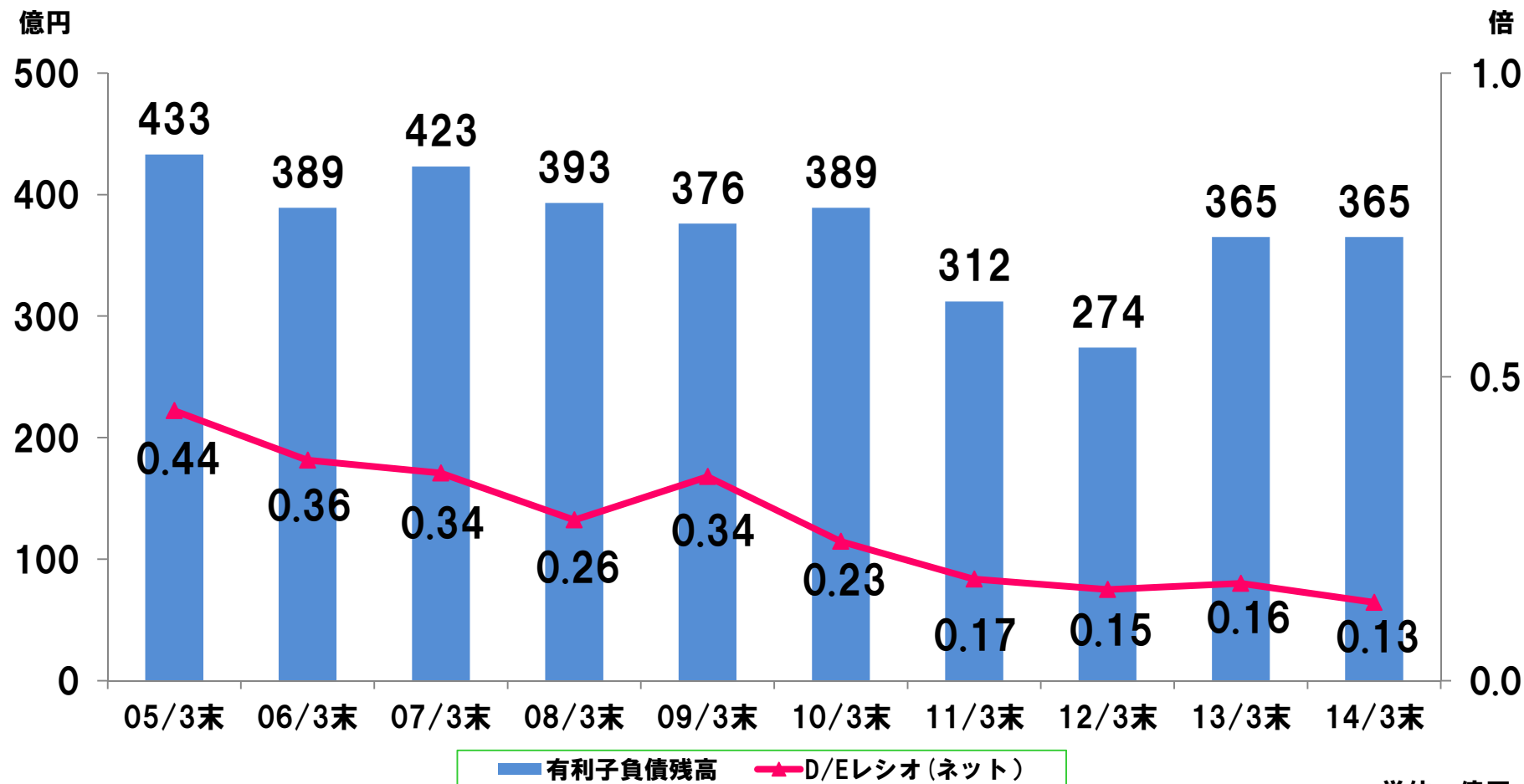


〈ご参考〉 連結売上高、営業利益率の推移



	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3予想	—	17/3計画
連結売上高	1,477	1,557	1,672	1,415	1,127	1,382	1,448	1,500	1,780	1,860	—	2,200
営業利益	138	160	198	90	47	110	120	125	173	186	—	220

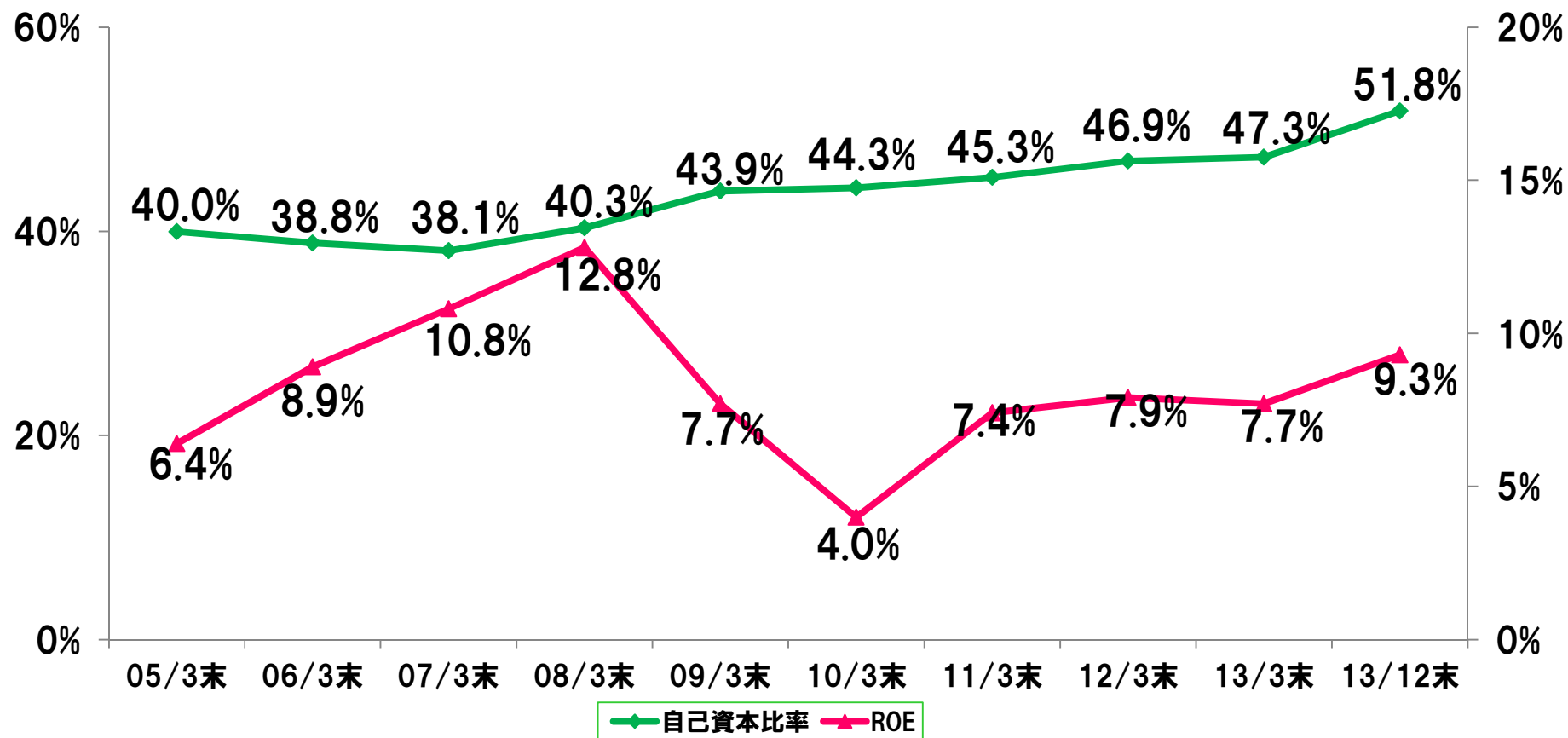
<ご参考> 有利子負債、ネットD/Eレシオの推移



単位：億円

	05/3末	06/3末	07/3末	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末
有利子負債残高	433	389	423	393	376	389	312	274	365	365
D/Eレシオ(ネット)	0.44倍	0.36倍	0.34倍	0.26倍	0.34倍	0.23倍	0.17倍	0.15倍	0.16倍	0.13倍

<ご参考> 自己資本比率、ROEの推移



	05/3末	06/3末	07/3末	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末
自己資本比率	40.0%	38.8%	38.1%	40.3%	43.9%	44.3%	45.3%	46.9%	47.3%	51.8%
ROE	6.4%	8.9%	10.8%	12.8%	7.7%	4.0%	7.4%	7.9%	7.7%	9.3%

**本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。**